



PTA会員の皆さん、教職員・地域の皆さまにおかれましては、平素より美川小学校PTA活動にご参加・ご理解をいただき、心からお礼申し上げます。

今年は4年に1度のサッカーの祭典、ワールドカップがロシアで行われております。執筆日（6月25日）現在、日本代表は、大会前の下馬評を覆し、1勝1分けと予選リーグ突破に向けて大健闘しています。

大会前には、直前の監督交代や強化試合の内容の悪さで、3連敗で大会を去るのではとの多くの予想がされておりましたが…。

話がだいぶ横道に逸れてしまいましたが、この日本代表の戦いを見て、PTAの活動にも重要なことがあると感じましたので、書かせていただきます。

まずは、「しっかりと準備しておくこと」運もありますが、勝ち目は低いとしても、しっかり対策を考えておくことが、良い結果を生むことに繋がるのだと思います。

そして、「しっかりコミュニケーションをとること」結果が出ているから、尚更思うのかもしれませんが、目標に向かって意思を統一することは成功する上で重要なのだと改めて認識いたしました。

今年もより一層、保護者、先生方、コミスクの皆さま、地域の皆さまと色々と話をさせていただき、お知恵とお力をお借りして、美川小学校の12名の子ども達のための活動をしっかりと準備して、行って参りますのでご協力のほど、よろしくお願い致します。

智恵と気遣いの足りない会長でございますが、美川小学校の関係者の皆さま、本年度も学校から地域を盛り上げてまいりましょう。

4月9日、2名の1年生を迎え平成30年度的美川小学校がスタートしました。子どもたちは、元気に、明るく、そしてみんなが仲良く活動しています。

学校には保護者・地域の皆様だけでなく、教育関係者の来校もあります。そして、次のような感想をいただくことがあります。曰く「落ち着いて学習していますね」「1年生も集中していますね」ある先生には「どうやったら子どもたちが相手のことを考えて優しい行動ができるようになるのか教えてほしい」と言われたこともあります。また、高学年の授業を見た後「すごいね。自分たちだけで考えて、議論しながら問題を解くことができるなんて」と感心されることもあります。

そんなとき私は「6年生の姿は複式授業で培った『主体的対話のある学び』の姿の集大成です。今の学年だけで付く力じゃありません。積み上げてきた結果です。」と説明しています。

学習課題に主体的に関わり、意見を交わし、先生に教えてもらうのではなく、助言を得て自分たちで結論に到達する力は、複式学級だからこそ身につけることのできる力なのかもしれません。

しかし、自力で解決できない課題もあります。それは人数です。人数が多ければ多様な考えにふれ、意見交流のための言葉もたくさん使う機会に恵まれます。この課題を改善するために、担任以外の先生に説明したり意見を求めたりして多様な考えに出会う機会を増やす取組を進めているところです。

保護者の皆様も是非、コミュニケーション力向上の支援のために、子どもたちと積極的に会話をして絆をいっそう深めていただけたらと思います。

今年度も子どもたちのすてきな成長のために、ご協力を宜しく願いいたします。

編集後記

今年かわいい1年生が2人入学し「スマイル」も嬉しいスタートとなりました。今年度も家では見られない、学校での子どもたちの姿や地域の皆様との交流行事を載せていきます。さあ今年の夏休みは、初めての柱島での宿泊体験から始まります。先生方どうぞよろしくお願ひします。みんなで楽しい思い出ができればいいですね。それでは、2学期の「スマイル」までお楽しみに。

1学期広報担当 藤本あゆみ 中村雅美

29年度広報誌コンクール
「優秀賞」をいただきました。